



SalesNote-FY0810

Imaging Team

掲載内容

Meta Imaging Series 情報

バージョン 7.5.6 について

新商品紹介

Lambda LS-XL 光源ユニットの紹介

Journal について

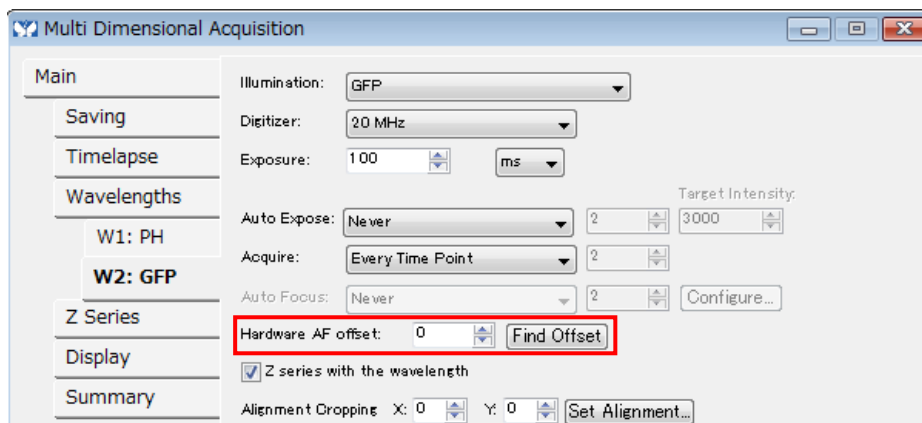
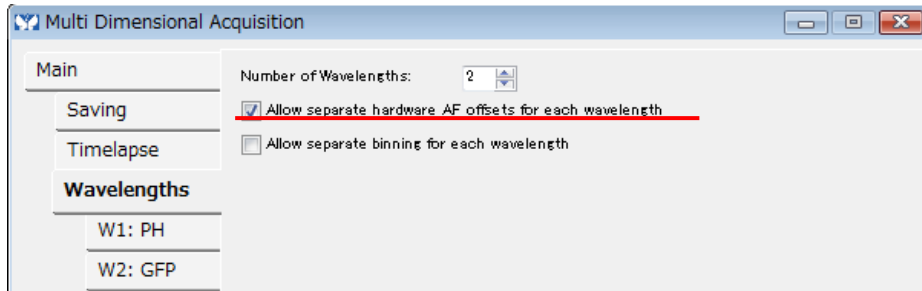
Application Module での任意の領域のみの計測に関する Journal について

Meta Imaging Series 情報

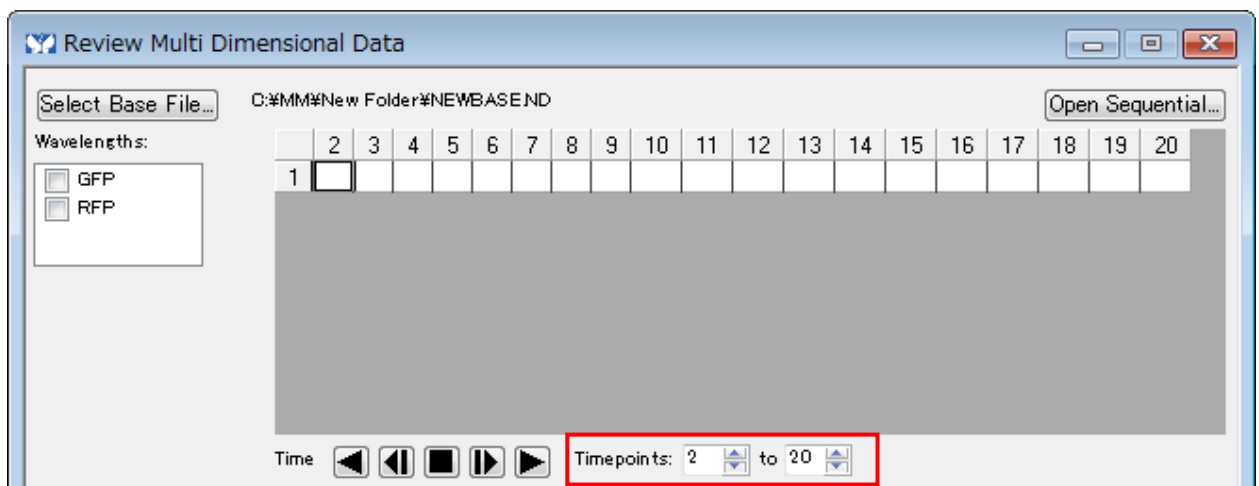
バージョン 7.5.6 のリリースについて

10月3日に Version 7.5.6 がリリースされました。主な変更点は下記になります。

- 1) LED 光源の 4 波長タイプに対応しました。
- 2) Ludl 社の Slide Handler を正式に対応しました。
- 3) MDA にて、多点測定を行わない場合 (Stage Tab を使用しない場合) でも、波長ごとに異なる ZDC Offset の設定を「Wavelength Tab」で行えるようになりました。



- 4) MDA にて、露光時間の単位が今まで「msec」のみでしたが、「sec」「min」に対応しました。(化学発光などの長時間露光の設定を行う場合に、大変便利になりました)
- 5) Review Multidimensional Data にて、Timelapse の表示を選択・設定することが可能になりました。(例えば 180points からなる Timelapse データの 2~20 だけを表示させたい時には下記のような設定になります。)

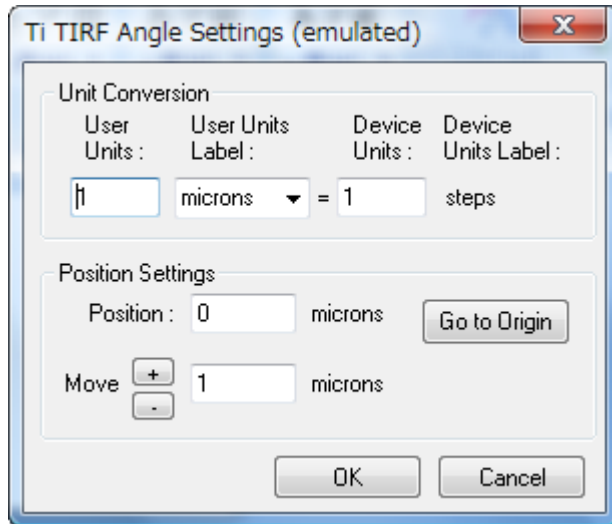


6) Nikon Ti で下記の機能が追加されました。

Run Time version 1.0.78.87 に対応しました。

Emulation mode (仮想状態) の設定ができるように機能が追加されました。

TIRF の傾きの設定が MetaMorph から制御できるようになりました。



新製品情報

Lambda LS-XL 光源ユニットについて

Sutter 社より、従来光源ユニットとして Lambda LS に続き、Lambda XL がリリースされました。



<Lambda XL>



<Lambda LS>

Lambda XL の予想されるランプ寿命は 15,000 時間と設定されており、この場合での減光率は 20%以下になっています。また、短期でのランプの揺らぎは 1%以下でタイムラプス測定に適しています。これに加え、SmartShutter やフィルターホイールを装置に組み込むことも可能となっています。

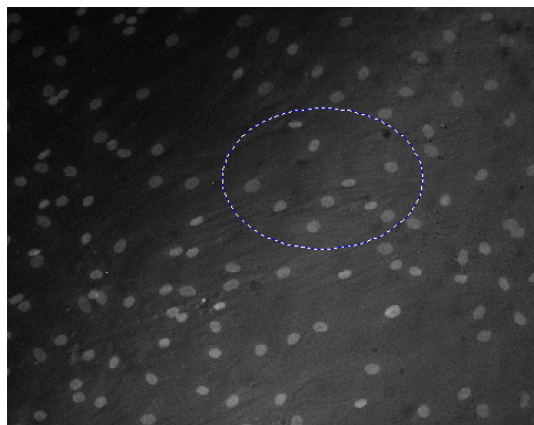
詳細な仕様や定価に関しましては、各営業担当にお問い合わせ下さい。

Journal について

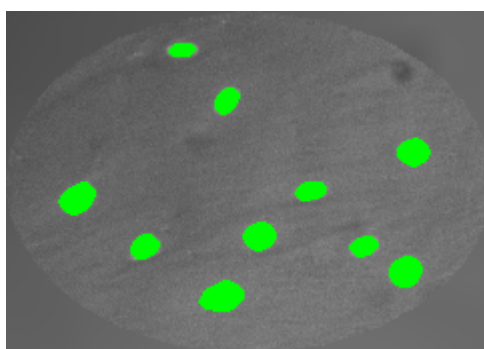
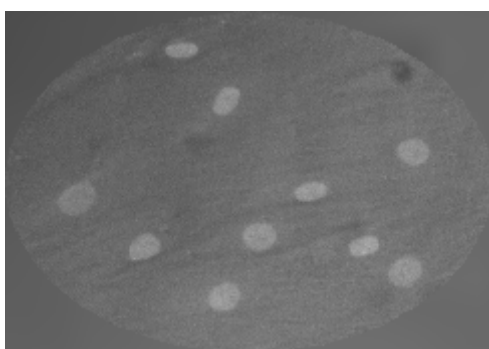
Application Module での任意の領域のみの計測に関する Journal について

ここでは、Count Nuclei のウィンドウでご説明いたします。

画像、全てでの処理に関してや、ROI が Rectangular Region (四角) の場合は問題なく計測が可能です。下記のように ROI (興味領域) のみの計測を行う場合、Journal が必要になります。



フィルター処理を行い、Region により画像抽出を行い、計測を実行します。



```
Filter size should be about twice the size of the largest object
Get source region width and height for the image
filterSize = 30
srcLeft = Region.Left
srcTop = Region.Top
srcWidth = Region.Width
srcHeight = Region.Height
Use a rank filter to generate a smooth background for the image Rank filter ignores regions so but regions on result image
1: New "RankFilter" = Basic Filters[[Current At Start], 30, 16, 5, 12]
  ↳ Kernel Width = filterSize
  ↳ Kernel Height = filterSize
2: Create Region()
  ↳ Position:X/From:X = srcLeft
  ↳ Position:Y/From:Y = srcTop
  ↳ Width/To:X = srcWidth
  ↳ Height/To:Y = srcHeight
3: Image/Plane[[Last Result]]
4: Rename Image[[Last Result], "RegionCopy"]
5: Close[[1: Basic Filters]]
6: Copy[[Current At Start]]
7: Paste[[Last Result]]
● **** End of Journal ****
```